

2025年2月4日

各 位

会 社 名 株式会社オリエンタルコンサルタンツホールディングス
代表者名 代表取締役社長 野 崎 秀 則
(東証スタンダード市場・コード番号2498)
問合せ先 取締役統括本部長 橋 義 規
TEL 03-6311-6641

株式会社オリエンタルコンサルタンツ 日刊建設通信新聞社セミナー「BIM/CIM 改革者たち 2025」に登壇しました

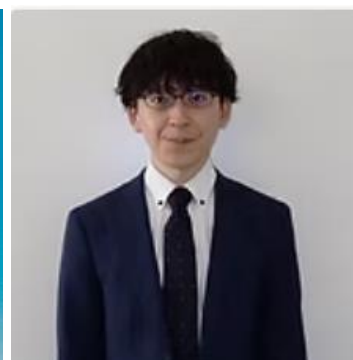
2025年1月31日(金)に開催された日刊建設通信新聞社セミナー「BIM/CIM 改革者たち 2025」に当社グループの基幹会社である株式会社オリエンタルコンサルタンツ(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:野崎秀則)社員の中西一仁さんが登壇いたしました。当セミナーでは、「流域統合 GIS と CIM 技術の融合～砂防事業での3次元管内図の活用～」について講演いたしました。

■講演の概要

砂防事業のプロセス管理や維持管理の効率化を目的として開発した流域統合 GIS システム「3次元砂防管内図」を紹介しました。この「3次元砂防管内図」は、航空レーザー測量成果やBIM/CIMモデルの統合により、砂防流域および砂防施設の情報を一元的に管理することで、計画・設計・施工・維持管理の各段階で活用でき、視覚的にわかりやすいことから円滑な意思決定を支援します。また、360度カメラや点群データで現地状況を詳細に記録し、これらのデータを容易に「3次元砂防管内図」に保存・活用することも可能です。今後は、時系列での比較にとどまらず、デジタルツインやメタバースとしての活用を目指し、さらなる高度化を進めます。

■開催概要

日時 : 2025年1月31日(金) 13:00~16:30
主催 : 日刊建設通信新聞社



3次元管内図の活用



計画
調査

執務室や現場など「流域内の任意の地点」で崩壊や河床の変化を把握したい



崩壊が拡大!



河床の土砂が移動(侵食)!

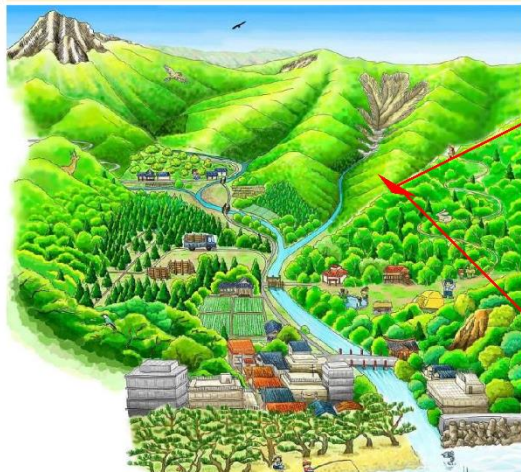
複数時期の航空写真・計測結果の活用

3次元管内図の活用



維持
管理

施工直後の出来形・完成状況を精度よく把握したい
構造物の損傷・周辺状況を精度よく把握したい



作業者目線の全天球(360度)画像



作業者目線の点群

完成後のCIMモデル・完成後の点群・全天球

図. 「3次元砂防管内図」の活用例 (発表資料抜粋)

以上

＜本資料に関するお問い合わせ先＞
株式会社オリエンタルコンサルタンツ
TEL: 03-6311-7551 FAX: 03-6311-8011
URL : <https://www.oriconsul.com/>
統括本部 伊藤、丸山、門司